

(第1号議案)

令和1年度事業報告  
(令和1年10月から令和2年9月)

代表幹事 入倉 要

令和2年10月上旬の現時点で、いまだ新型コロナウイルスに収束の気配が見えず、また、長期政権を担当してきた安倍晋三総理大臣の体調不良による辞任に伴い菅義偉新総理及び菅内閣が発足したばかりと、先行きが見通せない状況ではありますが、令和元年度の事業報告を申し上げます。

令和1年10月から始まった令和1年度の事業についてですが、通常の委員会活動に加え、年度当初に例年にもまして数多くの事業を展開しました。新たなプロジェクトである「つばさを広げる会」の記念すべき第一回は、山梨県出身のシミックホールディングス代表中村和男氏に講師をお願いし、11月7日に県内の5大学(山梨大学・山梨県立大学・都留文科大学・山梨学院大学・山梨英和大学)と連携して157名を集客し、学生達に刺激をあたえる発信を行いました。そして翌日の11月8日には、山梨大学と実施した「中部横断道の経済効果」の調査について、共同記者会見で公表しました。また、11月18日には山梨県の部局長との意見交換会をはじめ開催いたしました。

しかし、越えて2月に入る頃より、新型コロナウイルス感染拡大の問題が急速に広がってきました。このため、第二回「つばさを広げる会」は、中止にするか、延期にするか熟慮し、その時点で出来る全ての感染拡大防止の対策をした上で2月21日に開催いたしました。学生への感染に対する不安はありましたが、講師として呼び出した中尾充宏氏が取締役を務める株式会社UUUMは、若い世代に人気の職業となっているユーチューバーに関わる会社ということで、質問も相次ぎ、大変盛り上がりました。

この事業以降は、政府の緊急事態宣言もあり、集まることが出来ない中、書面会議で開催した常任幹事会以外は、全ての事業がストップしました。特に、「つばさを広げる会」は第三回目の講師に落合陽一氏を予定していただけに、開催の目途が立たなくなったのは大変残念でありました。

ただし、このように通常の活動が一切出来なくなった期間においても、出来ることをしていこうということで、書面会議で了承を得て、山梨県や甲府商工会議所が実施した飲食店応援プロジェクトへの協力や、山梨日日新聞に掲載した「負けるな、山梨」の意見広告事業などを実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大が一服を見せてきたことを踏まえ、6月からは、三密を避ける中で細心の注意を払いつつ活動を再開していきましたが、山梨でもクラスターが発生するなど7月に入り感染者数が増加に転じ、緊急事態宣言解除後に回復しつつあった経済活動が再度大きなダメージを受けることとなり、

経済同友会の活動も再び自粛の方向に進みました。

しかし、停滞していた事業を進めるため、ウィズコロナやアフターコロナとの関わり方を試行錯誤しつつ、足元では新しい日常のなかで活動を再開しました。「つばさを広げる会」と共に今年度の中心的事業と捉えていた「女性活躍パートナー会議」の立ち上げ準備などを始めております。

新型コロナウイルス感染拡大という特別な事情の中で、4月に予定されていた経済同友会全国セミナー（土佐）も中止になるなど、令和1年度の事業は、年度当初の予定とは全く違ったものとなりました。活動できなかった期間も長く、ほとんどの事業が未消化となっています。このため、新年度につきましては、現在の組織を継続して活動していくことを常任幹事会で決定いたしました。

以上、令和1年度の事業報告とさせていただきます。



(1. 10. 29 全国経済同友会代表幹事円卓会議)



(1. 11. 7 第1回つばさを広げる会)



(1. 11. 8 「中部横断道経済効果」記者発表)



(1. 11. 18 山梨県部局長との意見交換会)



(2. 5. 12 コロナ自粛中の新聞広告事業)



(2. 8. 20 山梨観光 with コロナ after コロナ講演会)